

## 概 説

子どもたちが毎日の生活を充実させ、健全に発達していくためには家庭、学校、地域社会がそれぞれの役割を果たしながら連携することが求められている。しかし、子育て家庭の孤立や地域の協働関係の希薄化などを背景に、子どもや子育て家庭を取巻く環境は子どもの健全育成にとって厳しいものとなっている。国においては幼児期の学校教育および保育、地域の子育て支援の量の拡大と質の向上を目的として「子ども・子育て支援新制度」がスタートし2年目を迎えた。京都市においては、「京都市未来こどもはぐくみプラン」が同じく平成27年に策定され、子育て支援施策を総合的に推進している。平成29年4月には子どもや青少年に係る施策を融合し、総合的に担う「子ども・若者はぐくみ局」が創設された。

このような状況の中、地域社会の中に児童館・学童保育所が存在し、児童館・学童保育所が子どもの日々の居場所となり、また子育て家庭を支える役割を果たすことはこれまで以上に重要になってきている。同時に、児童館・学童保育所の役割や機能を地域社会に今以上に認知されるよう一層努力することが求められている。

平成28年度は、国において創設された「子ども・子育て支援新制度」が2年目となり、その中で学童クラブ事業については、実施場所の確保、職員の確保等の課題はありながらも、各館所においては新基準に基づく円滑な事業が展開できるよう工夫と模索が続いている。実施場所の確保については引き続き京都市に要望するとともに、職員の確保については各館所での取組に加えて、連盟で無料職業紹介事業を実施できるよう、連盟事務局を移転し、新事務局に専用の執務室を確保する（現在は小会議室として使用）など、事業開始に向けて必要な手続きを進めた。

次に、平成28年度も各専門委員会の活動を軸に児童館・学童保育所の活動を支援した。特徴的な取組としては、事業推進委員会と施設長会が連携して、児童館・学童保育所で日々行われている、子ども達の家族支援実践に着目し、家族支援実践の調査を行い、合同で研修会を開催した。学童クラブに登録している児童については毎日の生活の中から、また乳幼児クラブの母子や自由来館の子どもたちでは児童館の活動の中から、子どもの人間関係や家庭、地域における生活状況や課題が見えてくる。調査を通じてこれらの課題に対して児童館・学童保育所が様々な角度から支援し、実践を蓄積している状況が明らかになった。蓄積された実践については29年度に実践事例集として発行の予定である。

また、予算対策委員会を中心とした要望活動を通じて、国における児童福祉従事職員の処遇改善を背景に、京都市においては、自由来館担当職員も併せて京都市独自の職員処遇改善に踏み出されたことが特徴的な動きだった。

さらに、学童クラブの利用が6年生までに拡大され、障害のある児童の支援に関心が集まる中、統合育成委員会では新たな取組として「統合育成連続講座」および「ケース検討会議」を開催し、今より以上に障害のある児童に寄り添う活動のあり方について検討した。ファミリーサポート事業については、提供会員が不足している状態が続いているが、京都市内の里親に対して提供会員募集を行うなど広報活動を強化した。

「親子でにこにこ笑顔いっぱい」の取組に代表されるように、公益社団法人として開催する各種イベントを通じて、子どもの育成に様々な人々が関心を持ち、理解を深めるための啓発活動を展開した。

# 事業推進委員会

## 1 平成28年度 基本方針

「京都市児童館活動指針」の浸透を図り、児童館・学童保育所が指針に基づいた活動を推進することを支援し、児童館・学童クラブ事業の全市的発展・推進を図る。

## 2 平成28年度 活動報告

基本方針に基づき、「活動指針研究会」を開催。また、児童館・学童保育所の活動実態及び利用家族の状況を知る目的として「子どもを通した家族支援について」のアンケート調査を実施し、その結果をワーキンググループが中心となって分析結果をもとにパネルディスカッションの実施及び事例集を発行した。指定事業の活動や成果を報告・還元し、児童館事業の充実を目的に「中高生と赤ちゃんとの交流事業」報告会も実施した。

月	活動内容	委員会 / 会議等
4月		第1回正副委員長会議(4/27)
5月	年間活動計画決定	第1回委員会(5/17)
6月		子どもを通した家族支援の取組についてのワーキンググループ① (6/2)※ 以下ワーキンググループ 第2回委員会(6/10) ワーキンググループ②(6/23) ワーキンググループ③(6/30)
7月	子どもを通した家族支援についてのアンケート集約	第3回委員会(7/1) ワーキンググループ④(7/5) 子どもを通した家族支援についてのアンケート(7/14~8/1)
8月	子どもを通した家族支援についてのアンケート集約及びアンケート結果の分析	ワーキンググループ⑤(8/30)
9月	アンケート結果の分析 研究会に向けての事前打合せ(全7ブロック)	第4回委員会(9/9) ワーキンググループ⑥(9/15) ワーキンググループ⑦(9/29) 研究会事前打合せ(1B:9/15 7B:9/20 3B:9/30 )
10月	研究会に向けての事前打合せ(全7ブロック)	ワーキンググループ⑧(10/12) 研究会事前打合せ(6B:10/12 5B:10/13 2B:10/14 4B:10/18) ワーキンググループ⑨(10/24) 第5回委員会(10/26)
11月	子どもを通した家族支援についての事例依頼 「京都市児童館活動指針(第3次改訂版)」研究会(全7ブロック)	研究会(6B:11/4 7B:11/7 2B:11/16 3B:11/17 1B:11/21 5B:11/24 4B:11/29)

12月	子どもを通した家族支援についての事例の編集	ワーキンググループ⑩(12/5) 第6回委員会(12/21)
1月	子どもを通した家族支援についての パネルディスカッション (施設長会研修との合同開催)(1/23)	ワーキンググループ⑪(1/16)
2月	「中高生と赤ちゃんとの交流事業」報告会 (2/28)	ワーキンググループ⑫(2/22)
3月	「子どもを通した家族支援について」の事例集 (3月末) 「京都市児童館活動指針(第3次改訂版)」研究会 報告集(3月末)	第7回委員会(3/10)

# 研修委員会

## 1 平成28年度 基本方針

- ・「京都市児童館活動指針」に基づき、児童館・学童保育所職員の資質向上を目的に、京都市から受託する児童館・学童保育所職員研修事業を実施する。
- ・「中堅職員派遣研修」については、28年度以降も継続的に見直しを進め、今後も本研修の重要性を認識し、より多くの職員が参加できるように努めていく。

## 2 平成28年度 活動報告

(1) 委員会の開催（5回）と正副委員長会議の開催（4月に1回、計1回）

(2) 研修会

① 行政研修（次ページを参照）

② （一財）児童健全育成推進財団への派遣研修（次ページを参照）

「児童厚生員等基礎研修会（前期）」	3人派遣
「児童厚生員等基礎研修会（後期）」	6人派遣
「中堅児童厚生員等研修会」	4人派遣
「全国子どもの健全育成リーダー養成セミナー」[行政指名]	3人派遣
「児童厚生員等指導者養成研修会」[行政指名]	2人派遣
「児童厚生一級特別セミナー」	1人派遣

### 平成28年度 職員研修実施報告

(1) 行政研修

( )は外部参加者を示す。

実施日	科目	講師		受講者数
4月25日	健全育成論	國重晴彦氏	京都市住吉児童館 館長	114人 (内8人)
〃	児童館論	森明美氏	京都市朱雀第三児童館 館長	76人 (内0人)
4月26日	放課後児童クラブ(学童クラブ)論	三浦正人氏	京都市御室児童館 館長	125人 (内13人)
〃	京都市の児童館・学童クラブ事業	飯吉昌子氏	京都市嵯峨野児童館 館長	97人 (内1人)
5月20日	安全指導・安全管理	松野敬子氏	神戸常盤大学 非常勤講師	126人 (内27人)
5月12～16日	救急法「普通救命講習Ⅲ」	消防署救急係	京都市消防局 各行政区	138人 (内17人)
6月15日	実技研修 身体表現活動	長曾葉子氏	京都音楽センター 講師	36人
13日	実技研修 野外活動	矢延直樹氏	京都市青少年科学センター	29人
16日	実技研修 児童文化財活用法	蓮岡修氏	きんだあらんど 店長	35人
23日	実技研修 ゲーム・運動遊び	池上正氏	京都サンガF.C 普及部部长	35人
27日	実技研修 科学遊び	松井真由美氏	はちっこクラブ 科学ボランティア	36人
20日	実技研修 音楽表現活動	長谷川京子氏	こべっこランド 音楽スタジオスタッフ	33人
29日	実技研修 造形表現活動	和田紀世美氏	和田造形絵画教室主宰 印度学研究所	30人
22日	配慮を要する児童の対応	小谷裕実氏	花園大学社会福祉学部教授	113人
7月7日	児童文化財活用法2	橋高邦子氏	京都ノートルダム女子大学非常勤講師	79人
13日	障害のある児童の統合育成Ⅰ	定元ゆきこ氏	京都少年鑑別所 精神科医	168人 (内31人)

9月28日	集団援助技術 講義・演習	渡邊慶一氏	京都聖母女学院短期大学 准教授	102人
10月7日	障害のある児童の統合育成Ⅱ	浜口雄二氏 谷内博史	京都市教育委員会 主席指導主事 京都市児童館学童連盟 常務理事・統括監	149人 (内34人)
10月11日	施設長研修	村上公也氏	元京都市小学校教諭	114人
12月13日	中堅研修特別講義	志田梨恵氏	k o k o r o 会 代表	69人
12月15日	人権研修	加藤博史氏	龍谷大学短期大学部 教授	146人 (内41人)
2月20日	児童の発達理論（乳幼児期）	浅野明美氏	京都市子育て支援総合センター こどもみらい館 顧問	155人 (内43人)
2月5日	上級研修	足立明美氏	オフィス・スキッパー 専任講師	31人

実施日	科目		講師		受講者数
9月5日 ～17日	中堅 研修	中堅職員派遣研修			24人
1月30日 ～31日		ソーシャルワーク論 30日：講義 31日：演習	浦田雅夫氏	京都造形芸術大学 准教授	41人
5月24日	派遣 関連	中堅研修事前説明会	栗田知氏他		36人
7月4日		中堅職員派遣研修 オリエンテーション	黒澤弘和氏	公益社団法人京都市児童館 学童連盟研修委員会委員長	46人
10月24日		中堅職員派遣研修事後研修会	各厚生員	公益社団法人京都市児童館 学童連盟研修委員会	24人
10月25日		中堅職員派遣研修施設長報告会	各施設長		22人

(2) (一財)児童健全育成推進財団への派遣研修

研修名	実施日	場 所	受講者	
児童厚生員等基礎研修会 (前期 東京会場1)	6月14～17日	東京都	谷口敦 高嶋浩佑 山田円	(久我の杜) (向島南) (桂徳)
児童厚生員等基礎研修会 (後期 大阪会場)	9月10～13日	大阪府	渡邊良子 中村沙矢香 岡本静 宮地美里 山川朋恵 島津ひろ恵	(朱雀第三) (嵯峨野) (葛野) (西京極西) (城南) (嵐山東)
中堅児童厚生員等研修会	10月4日～7日	大阪府	溝口晋太郎 比嘉将吾 坂田亜耶 服部和代	(たかつかさ) (御室) (西京極西) (連盟)
全国児童厚生員等指導者養成 研修会〔行政指名〕	11月14～16日	東京都	小倉真由美 吉水文翁 池上英里	(修学院第二) (明德) (桂坂)
全国子どもの健全育成 リーダー養成セミナー 〔行政指名〕	12月17日、18日	東京都	中山あい 木戸玲子 三浦正人 松本紀子 高橋睦巳	(西陣) (修徳) (御室) (桂徳) (連盟)
児童厚生一級特別指導員 セミナー	2月17日、18日	東京都	下田元子	(山王)

※ブロック企画研修（「児童館・学童クラブ活動研究Ⅰ」）

ブロック	実施日	テーマ	講師		受講者数
1	7月 6日	新制度をよりよく運営するために	各厚生・指導員		34人
	1月 18日	高学年にとって魅力ある集団づくり	森徹氏	学童保育所虹の子クラブ指導員	29人
2	9月 7日	避難訓練等	防災センター職員		19人
	11月 9日	青少年を取り巻く現状について	松浦一樹氏	NPO 法人 ENDEVOREVOLUTION	25人
3	9月 29日	高学年も共に楽しめるあそび	三浦正人氏	御室児童館 館長	33人
	11月 30日	支援を要する児童への関わり方や対応について	北村光代氏	児童館学童連盟 参事	29人
4	9月 5日	いま一度考えてみませんか？ おやつのこと	村野ひとみ氏	管理栄養士	20人
	11月 9日	室内あそび	梅原幸子氏	レクリエーション コーディネーター	23人
5	7月 12日	児童期の心の発達について	田爪宏二氏	京都教育大学 准 教授	23人
	12月 8日	室内でできる集団あそび	各厚生・指導員		23人
6	7月 8日	学童クラブの課題と悩み	各厚生・指導員		29人
	11月 14日	本当は教えたくない、館所のイチオシの行事	各厚生・指導員		31人
7	11月 9日	放課後児童クラブにおけるクラス運営について	齊藤敦彦氏	大枝児童館 館長	25人
	2月 8日	乳幼児対象のわらべうたあそび・つながりあそび	木戸史氏	元公立保育園 保 育士	24人

# 京都やんちゃフェスタ特別委員会

## 1 平成28年度 基本方針

テーマ「遊びの復権・子どもの人権の尊重・ノーマライゼーションの推進」に基づき2部構成で開催。

第1部は「梅小路公園に児童館がやってくる！！」をキャッチコピーに、「とどけよう！笑顔と元気を子どもから」をサブテーマに掲げ、それに基づいた企画を展開する。

第2部は主に乳幼児を対象とし、「子育て・子どもたちってこんなに素敵だよ！」をテーマに実施する。

## 2 平成28年度 活動報告

### (1) 京都やんちゃフェスタ2016（第1部）実施内容

日時：平成28年10月29日（土） 10時～15時30分

会場：京都市梅小路公園

来場者数：約44,000人

内容：ブロック・ステージ（中央・七条広場）・フィールド企画の3構成で実施。

#### ○ブロック企画

児童館・学童保育所の活動をPRするため、遊びのコーナーを展開。

#### ○ステージ企画

中央ステージ…オープニングセレモニー（京都市立下京中学校吹奏楽部）、「ライブトゥギャザー」「クッキーズコンサート」、エンディングを展開。

七条広場ステージ…子どもたちの司会による「ストリートライブ」「マクドナルドショー」「ゆるキャラタイム」等を展開。

#### ○フィールド企画

実行委員会によるコーナー…「中高生企画」「子育て支援フリーマーケット」「絵画展示」「駄菓子・缶ジュース」「宝石すくい」「東日本大震災募金」等のコーナーを展開。

各関係機関・団体・大学のコーナー…京都市内の各大学のサークル・ゼミ、関係機関等がコーナーを展開。

\*「明日、何して遊ぶ？」を絵画テーマに子どもたちの絵画作品を募集。応募総数2,174点。最優秀作品を京都やんちゃフェスタ2016のポスター・チラシに採用。

### (2) 組織体制

実行委員会（フェスタに関わる重要事項の審議・決定、予算及び決算の承認等）、業務部会（実行委員会の事務処理、事業の円滑な推進）、企画委員会（フェスタの企画立案・調整、業務部に提案）を設置。

### (3) 委員会の開催

実行委員会…3回、業務部会…4回を開催。その他各担当者による会議を開催。

### ※京都やんちゃフェスタ（第2部）について

平成28年11月26日（土）、みやこめっせにて実施。ペンシルバルーンのコーナーやステージにて「子育て支援ステージ～児童館の『幼児クラブ』がやってくる♪～」を展開した。児童館来場者数は約10,500人。

# 統合育成委員会

## 1 平成28年度 基本方針

- (1) 学童クラブにおける障害のある児童の居場所作りと統合育成事業の推進を図る。
- (2) 障害のある児童を支える関係機関との連携及び協力体制の確立を目指す。

## 2 平成28年度 活動報告

- (1) 委員会（6回）…4月・6月・9月・11月・1月・2月

（1月は、京都市立北総合支援学校の見学会と説明会）

主な案件：新規事業の実施について、職員研修会・介助者研修会の開催について

- (2) 新規事業

- ①統合育成連続講座（5回）…5月・7月・9月・11月・1月

対象：児童館長・学童保育所長・児童厚生員 42名

テーマ：「発達障害の理解について」等

講師：京都市児童福祉センター 総合支援担当係長 岡崎達也氏

京都市立呉竹総合支援学校 育（はぐくみ）支援センター 担当教諭

- ②ケース検討会議（11回）…全体会：統合育成委員対象2回・個々の児童館：9回

6月～12月 随時実施

テーマ：児童館におけるケース検討会（カンファレンス）の持ち方

講師：京都教育大学准教授 田爪宏二氏・洛西愛育園発達相談員 高木恵子氏

- (3) 研修会の概要

- ①職員研修会（2回）対象：児童厚生員・学童保育所職員・子育て支援員・クラス主任・クラス担当

「障害のある児童の統合育成Ⅰ」 7月13日（水） ひと・まち交流館京都

テーマ：「発達障害を有する児童の思春期での課題をみたときに、児童館で今、何をすべきか」

講師：定本 ゆきこ 氏（京都少年鑑別所 精神科医）

「障害のある児童の統合育成Ⅱ」 10月7日（金） キャンパスプラザ京都

テーマ①：「障害のある子どもの教育の場について－就学相談－」

講師：浜口 雄二 氏（京都市教育委員会 総合育成支援課 首席指導主事）

テーマ②：「障害者福祉について－見える障害・見えにくい障害－」

講師：谷内 博史 氏（公益社団法人 京都市児童館学童連盟 常務理事 統括監）

- ②介助者研修会（2回）

「障害のある児童の統合育成①」 6月28日（火）ひと・まち交流館京都

テーマ：「えがお・考える・つながる」～イキイキ・キラキラ・ルンルンの巻～

講師：村上公也氏（元京都市立学校教員・キミヤーズ塾長）

「障害のある児童の統合育成②」 11月8日（火）午前・午後2回実施 しんらん交流館

テーマ：「障害のある子どもとの心地よいコミュニケーションのあり方」

討議の柱立て：公益社団法人 京都市児童館学童連盟 統合育成担当主任 北村光代

- (4) その他

- ・介助者登録について…毎月第3金曜日に連盟事務局で実施していた介助者登録会を、毎週金曜日に実施するとともに、各児童館所で施設長による登録も実施できることとした。



# 広報委員会

## 1 平成28年度 基本方針

- ・ 広報物については、読み手にとって親しみをもたれる紙面を目指し、常に紙面刷新の意識をもって活動を展開する。
- ・ 京児連だより「キッズステーション」は、公益性を意識し、市民に対し児童館・学童保育所の活動をPRすることを目的に発行を行う。
- ・ 「れんめいニューズレター」は、職員情報誌として、職員研修会の報告、連盟の各委員会、理事会等の動きを正確・迅速に伝えることを目的に発行を行う。
- ・ 児童館・学童保育所の活動と当連盟の事業をPRするため、ホームページの管理・更新を行う。

## 2 平成28年度 活動報告

(1) 委員会の開催(3回)… 5月25日(水)・11月30日(水)・3月21日(火)

(2) 機関紙 京児連だより「キッズステーション」の発行

①発行回数：年4回(7月・10月・1月・4月発行) 122号～125号

②発行部数：1回につき、約16,000部

③配付先：各児童館・学童保育所 及び 児童家庭課、福祉・教育関係機関及び団体、報道関係、京都府立総合資料館、連盟理事・監事 等(約90箇所)

[主な記事]

122号(7月)：「京都市の児童館」ホームページの紹介

「京都やんちゃフェスタ2016 第1部」予告

「児童館・学童保育所まつり」の報告

「夏のオアシス クールキッズステーション」について

123号(10月)：「京都やんちゃフェスタ2016 第1部」紹介

「京都やんちゃフェスタ2016 第2部」予告

「親子でニコニコ笑顔いっぱい」予告

124号(1月)：「子どもを共に育む京都市民憲章」について

「やんちゃフェスタ2016 第1部・第2部」報告

125号(4月)：「児童館・学童保育所まつり」紹介

「子育てコラム 連載シリーズ前編 絵本とは『読んでもらう本』」

(3) 職員情報誌「れんめいニューズレター」の発行

①発行回数：年12回(毎月5日発行) 238号～249号

②発行方法：メール送信及び郵送

③配付先：各児童館・学童保育所 及び 児童家庭課、関係機関、連盟理事・監事 等(約25箇所)

(4) ホームページ「京都市の児童館」の更新

児童館・学童保育所の活動及び当連盟の事業をPRすることを目的とする。当連盟の事業に関する情報についても随時更新を行った。「キッズステーション」を掲載した。

その他、QRコードの作成等を盛り込んだホームページ研修を行った。

# 処遇・施設委員会

## 1 平成28年度 基本方針

本委員会の基本方針である「この委員会は、職員処遇および施設・設備の現状を調査分析し、『京都市未来こどもはぐくみプラン』ならびに『京都市児童館活動指針』を推進する立場から、職員処遇、施設・設備のあり方を検討する。」を踏まえて、職員処遇向上のための理解促進（勉強会）、次年度の要望項目の検討を行う。

## 2 平成28年度 活動報告

委員会の開催（4回）

『子ども・子育て支援新制度』が実施されて2年目となり、新制度に伴う各館所における課題や実態を調査するために全館所にアンケートを実施した。アンケートでは、各館所で高い関心がある学童クラブ事業におけるクラス担当等の雇用状況や職員雇用についての状況と、給与や各種手当等の処遇面、施設について安全面等の調査を行った。アンケート結果を集計し分析すると、クラス担当等の雇用についての必要数はほぼ確保されているが、必要時間数が確保されていない実態が明らかとなった。正規職員の処遇については引き続き給与の抜本的な改善を求めるとともに、施設面での防犯カメラの設置や施設の耐震についての改善が必要だとする議論がなされた。委員会の中で議論された処遇・施設に関する改善項目は以下のとおりである。

- (1) 職員の処遇について
  - ・職員処遇の抜本的改善
  - ・住居手当と扶養手当の支給
  - ・超勤手当の年間限度時間数拡大と区分の廃止
- (2) 施設改善について
  - ・防犯対策や耐震補強の改善
  - ・子どもを個別対応するスペースの確保
- (3) 1クラス館所の職員配置について
  - ・1クラス館所における正規職員の配置基準の見直し

# 予算対策特別委員会

## 1 平成28年度 基本方針

各専門委員会の意見・要望等を横断的に集約し、児童館・学童保育所の事業が京都市の施策の中で力点の置かれるものとなり、実情にあった適切な予算措置が図られるよう、連盟理事会が京都市当局に働きかけるための要望書を策定する。

## 2 平成28年度 活動報告

第1回 委員会 平成28年5月2日

各専門委員会より委員選出

- ・ 委員の紹介、委員会の役割と位置づけの確認
- ・ 平成27年度の事業活動報告
- ・ 平成28年度の年間スケジュール（案）について

第2回 委員会 6月27日

- ・ 各専門委員会からの要望集約

第3回 委員会 7月11日

- ・ 「平成29年度京都市予算に対する要望書」（案）のまとめ

- ・ 「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」を速やかに達成するために必要な予算措置
- ・ 一元化児童館130館の枠にとらわれない積極的かつ柔軟な対応
- ・ 専門性を有する職員の離職を防ぐための職員処遇の抜本的な改善
- ・ 子育て支援・思春期児童対策等、多岐にわたる児童館事業の円滑な実施のために必要とされる事業費の措置
- ・ 学童クラブが一クラスの児童館における正規職員配置基準の見直し 等

第27回 理事会 8月25日

「平成28年度京都市予算に対する要望書」（案）の提示・承認

児童家庭課との懇談会 9月 8日

- ・ 「平成28年度京都市予算に対する要望書」の提出。

- ・ 平成29年度京都市予算の概要について説明を受ける。 2月16日

第4回 委員会 3月 8日

- ・ 平成28年度事業の報告
- ・ 平成29年度予算対策特別委員会年間活動スケジュール（案）について

# 子育てボランティアバンク事業

## 1 平成28年度 基本方針

地域における子育て支援の風土づくりの一つとして、広く子育てに関心のある方にボランティアとして登録していただき、児童館や地域の子育ての場を支えるボランティアの人材を育成するとともに、安心して活動できる場所を提供する。

## 2 平成28年度 活動報告

### (1) 会員登録、募集情報の受付

登録会員数：514人 平成29年3月31日現在

(前年同時期より32人増、平成28年度新規登録会員数は29人)

募集情報数：30団体

### (2) 登録会員対象の講習会、交流研修会の開催

日 程	内 容	講師・体験施設	参加者
7月14日	ボランティア体験 ＜内容＞乳幼児親子対象の乳幼児クラブ活動への関わりと学童クラブ児童との遊びを通じた関わりの、2つの活動内容を各児童館で体験	円町児童館 高野児童館	5人
9月27日	講習会 ＜内容＞「本当に役に立つボランティアって？」	NPO 法人 きょうと NPO センター 事業コーディネーター 森本 のり子氏	4人
10月29日	ボランティア体験 ＜内容＞京都やんちゃフェスタ 2015 (第1部) のコーナースタッフとして「駄菓子・缶ジュース」「宝石すくい」各コーナーを担当しボランティア体験	京都やんちゃフェスタ 2015 (第1部) 梅小路公園	9人
11月11日	実技講習会 ＜内容＞バルーンアートの制作と実技の活かし方	子育てボランティアバン ク担当者	12人
11月26日	ボランティア体験 ＜内容＞京都やんちゃフェスタ 2015 (第2部) のコーナースタッフとして、「バルーンアート」コー ナーを担当しボランティア体験	京都やんちゃフェスタ 2016 (第2部) みやこめっせ	13人
1月27日	ボランティア体験 ＜内容＞乳幼児親子対象の乳幼児クラブ活動への関わり	醍醐中央児童館	3人
2月15日	施設向け研修会 ＜内容＞つないで結ぼう！ 児童館愛」 ～児童館の魅力で、日々の活動から ボランティア活動をひろげてみませんか？～	新道児童館 館長 八木 信代 氏	20人
2月25日	ボランティア体験 ＜内容＞京都市ファミリーサポートセンター「ふあ みさぼまつり」のコーナースタッフとしてボランテ ィア体験	京都市ファミリーサポ ートセンター「ふあみ さぼまつり」	5人

- ・登録会員（ボランティア希望者）向けに講義と実技、募集团体（ボランティア募集团体）の職員向け講義、登録会員と募集团体の職員との交流会を実施。
- ・登録会員がボランティア活動を始めるきっかけとなるよう、また児童館職員との交流をはかるよう、児童館でのボランティア体験（2箇所）「やんちゃフェスタ（第1部）・（第2部）」でのボランティア体験を実施。

### (3) 広報活動

- ・ホームページの運営
- ・チラシ・ポスターの配布・掲示、児童館・学童保育所へ講習会等のチラシ配布、市民しんぶん・「れんめいニューズレター」への掲載、やんちゃフェスタ等イベント時のチラシ配布
- ・登録会員への郵送、メールによる情報提供

## 健全育成・子育て支援事業

平成28年度も公益社団法人として、子どもたちに楽しいひとときを提供し、子どもの健全な育成と子育ての支援について啓発を行うため、子どもたちをはじめ、広く市民を対象に以下の取組を実施した。

### 「夏のオアシス！クールキッズステーション」

実施期間：平成28年7月1日～9月30日 平日および土曜日の午前10時～午後5時

夏季の各家庭での電力消費の削減に寄与すると共に、熱中症対策の一助として、子育て親子や高齢者の方々を対象に、児童館を夏季の日中の居場所として提供することとし、京都市の節電対策に連携し、市内131箇所すべての児童館を地域における「クールスポット」として様々なイベントを実施した。

### 「子どもたちの願いを乗せて」 —京都市営交通との列車コラボレーション企画—

平成22年度から開始した事業である。今年度も市営交通のさらなる利用の促進と児童館・学童クラブの取組をアピールした。

『京の七夕』事業とのコラボレーション 平成28年8月1日(月)～8月15日(月)

7月30日(土)には、市営地下鉄開業35周年と国立京都国際会館50周年の記念イベントが実施され、児童館の子どもたちが参加した。

### 「京都岡崎レッドカーペット」

京都市が実施する「京都岡崎ハレ舞台」の一環として、平成28年9月17日(土)実施された。5児童館の子供たちが参加し、日ごろの取組の成果を披露した。

### 「親子でにこにこ 笑顔いっぱい」

#### 『子どもを共に育む京都市民憲章』をひろめましょう！

日 時 :平成29年1月28日(土)10:30～15:30

場 所 :京都こども文化会館 エンゼルハウス(京都市上京区一条通七本松西入)

公演内容:「はなかつぱキャラクターショー」「京都はぐくみ憲章ステージ」

子どもを共に育む京都市民憲章(愛称:京都はぐくみ憲章)の普及を目指し例年実施するコンサート。今年度は午前の部・午後の部の二回公演を実施し、約800人の親子が参集し親子の絆を深めた。来賓として京都市長を迎え、市の子育て支援の取組について挨拶を得た。さらに児童館・学童保育所の子どもたちがステージ上で京都はぐくみ憲章のテーマソングを合唱することで、憲章の理念と実践について理解を深めた。

### 「第5回 京都子ども将棋交流大会」

日 時:平成29年3月18日(土)9:30～17:00

場 所:ひとまち交流館京都(京都市下京区)

洛和会ヘルスケアシステム主催、当連盟共催で開催された。参加者は大会史上最大の約250名を数えた。今年は、毎年将棋盤の贈呈を通して復興支援を続けている会津若松市から子ども棋士4名を招待し、将棋を通じた交流を図った。予選リーグ・決勝トーナメントを経て、低学年の優勝者には、門川大作京都市長より「京都市長杯」、高学年の優勝者には、洛和会ヘルスケアシステム矢野一郎理事長より、「洛和会丸太町病院・音羽病院杯」が授与された。

# ファミリーサポート事業

## 1 平成28年度基本方針

- ・支部においても入会申込の受付・活動依頼の受付・登録会及び講習会を開催し、京都市全域で会員登録の機会を設ける。
- ・支部を児童館に設置している特性を活かし、利用者同士の子育て援助を推進する。
- ・支部において提供会員対象の交流会を開催する。

以上を通じて、支部と地域の会員がより密着した事業の展開をはかる。

## 2 平成28年度活動報告

### (1) 統計

会員種別	会員数	28年度増加数
依頼会員	5,900	△51
提供会員	979	18
両方会員	201	△23
合計	7,080	△56

平成28年度 活動総数		11,283
<活動件数 上位の内訳>		
1	保育施設の迎え及び帰宅後の援助	3,758
2	保育施設の登園前の援助及び送り	1,849
3	子どもの習い事等の援助	1,177

(平成29年3月末現在 単位：人)

(単位：件)

### (2) 会議・講習会・交流会等実績

	内容	時間数	回数
地域リーダー会議	交流会開催の打ち合わせ・会報誌の企画等	2時間	12回
登録会(本部3回・支部42回・京北3回)	依頼会員に登録するための登録会	1時間	48回
講習会(本部2回・支部3回)	提供・両方会員に登録するための講習会	7時間30分	5回
レベルアップ講習(実技)	普通救命講習	3時間	2回
レベルアップ講習(講義)	子どもの栄養と食生活	1時間30分	2回
	子どもへの対応で困った時	1時間30分	

交流会	開催日時	実施場所	参加人数
全体交流会 (フラダンス・意見交流・子どもくじ引き大会)	9月15日	ひと・まち交流館 (大会議室)	21
地域別交流会 (支部と共催：提供会員・両方会員の意見交流)	11月9日 11月16日 11月21日	下京児童館 醍醐児童館 左京児童館	24
ふぁみさぼまつり (パフォーマンスショー・紙コップ工作・缶バッジ・たま入れゲーム・くつろぎの5つのコーナー)	2月25日	ハートピア京都 (大会議室)	101

(3) 広報実績

	回数・部数	内容
会報誌「ふあみさぼ通信」発行	3回 24,600部	全会員及び関係機関に配布
市民しんぶん掲載	4回 全市版4回	講習会・交流会開催のお知らせ
提供会員募集の案内	5回 京都市内図書館 5回 こどもみらい館	講習会のお知らせ
提供会員募集の案内	1回 市内里親世帯	講習会のお知らせ
一般新聞掲載	4回 京都新聞	連載記事・交流会開催のお知らせ

(参考：会員数・活動数の推移)

会員数

(単位：人)

会員種別	H25年度末	H26年度末	H27年度末	H28年度末
依頼会員	5,373	5,633	5,951	5,900
提供会員	913	929	961	979
両方会員	225	222	224	201
合計	6,511	6,784	7,136	7,080

活動総数

(単位：件)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
活動総数	17,272	18,290	14,368	11,283

# 有料指定袋無償配布事業

## 1 平成28年度 基本方針

京都市においては、「家庭ごみ有料指定袋制」実施にあたり、日常的に紙おむつを使用している市民に対し、負担の公平性の原則に鑑み、紙おむつ使用世帯に対する特例措置として1新生児に限り1回限り有料指定袋の無償配布を行っている。

当連盟は、市環境政策局から新生児出生世帯に対する配布窓口事業を受託し、①子育て支援および②児童館における乳幼児親子対象事業の広報の一環として取り組んでいる。

### 【対象者】

京都市内で出生した新生児を養育する保護者（京都市から送付される「出産お祝いレター」および「子育て応援パンフレット」お届け対象者）

### 【配布内容】

「出産お祝いレター」に同梱されている家庭ごみ有料指定袋無料引換券（新生児減免用）を児童館に持参された保護者に対して、指定袋（燃やすごみ用）「30リットル袋40枚」、または「20リットル袋60枚」を引換配布する。

## 2 平成28年度 活動報告

- (1) 京都市内の各児童館(131館)を窓口とし、引換業務を実施。
- (2) 児童館の乳幼児対象プログラムを記載したPR用のチラシを作成し、引換に来られた保護者に配布。
- (3) 館では毎月末に集計を行い、翌月必要資料とともに連盟事務局へ報告、事務局より環境政策局ごみ減量推進課へ実績を報告。
- (4) 平成28年度の総引換件数は3,046件であった。

(参考：引換件数の推移)

年度	引換件数
平成23年度	3,595
平成24年度	3,318
平成25年度	2,873
平成26年度	3,177
平成27年度	3,682
平成28年度	3,046



# 京都市子育て支援活動いきいきセンター

## つどいの広場事業

京都市では、子育て中の親の負担感の緩和を図り、安心して子育てができる環境を整備するため、平成17年5月からつどいの広場（京都市子育て支援活動いきいきセンター）の開設を進めている、平成22年度からは当連盟も西京区で京都市からの委託を受け「つどいの広場」の運営を行っている。

子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、相互に交流するための場所で、保育士経験者等からなる子育てアドバイザーが専門的な観点から相談に応じるほか、地域の子育て支援に関する情報の提供や子育て講座等のイベントなどを実施した。

- 名 称 : のこちゃん広場  
所在地 : 京都市西京区大原野東竹の里町三丁目1番地  
          洛西東竹の里市営住宅集会所（中央）内  
利用対象 : 京都市内の子育て中の親子（主に乳幼児を育てている親とその子）  
休所日 : 水曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～翌年1月3日）  
開設時間 : 午前10時から午後4時まで  
利用料金 : 無 料（ただし、材料代等の実費負担が必要な場合がある。）

### 5周年記念イベント

平成28年度は開所5周年記念イベントとして、広場の開設当時の利用者を招待し、地域の子どもや大人にも広場を開放して、バルーンアートのパフォーマンスを楽しんだ。成長後も子育ての思い出を共有できる場として・子どもを中心として地域の人々が集う施設として、のこちゃん広場の特色を打ち出すイベントとなった。

### 年間イベント

- |            |   |
|------------|---|
| リラックスヨガ    | インストラクターを招き、子育て家庭及び地域の住民が参加して気軽に体を動かし、フィットネス・リラックス効果も狙う。乳幼児の保護者に対しては託児も実施する。      |
| ベビーエステ     | ベビーマッサージインストラクターの指導の下、親子がゆったりと触れあうひとときを提供する。                                      |
| Petit luxe | アロマセラピー効果を用いたオリジナルコスメ・ペーパークラフトなど、少し贅沢な材料を用いた手作り体験。                                |
| のこちゃんキッチン  | 大人の食事から作り分けて、家族で同じメニューを一緒に楽しむことができる離乳食の紹介。  |
| 絵本の日       | 読み聞かせを中心にパネルシアター等も取り入れ、親子ともに絵本に親しむ機会を増やす。月に一度は、親子が向き合っ一緒に遊ぶ工夫を紹介する「いっしょにあそぼう」も企画。 |
| おでかけのこちゃん  | 外遊びの楽しさを満喫できるよう、春秋のシーズンに実施。   |

他、利用者の希望に応じた手作りの材料や技法を提供する「ほっこりクラフト」を随時実施。打ち解けた雰囲気の中で、子育ての悩みや発達相談等も気軽にアドバイザーに話せるような広場のかたちを維持するよう努めた。